



発行：医療法人社団 松和会 介護老人保健施設
「ききょう苑」(年4回発行、創刊2016年4月1日)
〒259-1126 神奈川県伊勢原市沼目6-1237
Tel: (0463) 92-8101 ☐ kikyoen@showakai.or.jp

謹賀新年



皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りしています。

2025年 元旦 ききょう苑 職員一同

「蛇年」は十二支の一つで、生命力や再生を象徴します。脱皮を繰り返すことから、自己成長や変化を意味します。また、蛇は神聖視される存在でもあります。2025年は「巳(へび)」年で、干支は「乙巳(きのと・み)」となります。干支の「乙」は困難を乗り越えて進むことを表し、蛇の「巳」は再生と変化を意味します。

蛇年あれこれ・・・十二支では、6番目。巳の方位は、南南東(正しくは、南南東よりやや北寄り。南東備南)。乙の月は、旧暦4月。巳の月は、旧暦4月。陰陽は陰、五行は火。2025年には、日本国際博覧会(大阪・関西万博)や第20回世界陸上の開催が予定されています。

ききょう苑の

総合企画部をご紹介します

ききょう苑総合企画部は、2018年に発足いたしました。現在介護部門3名、リハビリ部門1名、相談部門1名の計5名で活動しております。総合企画部とは「ききょう苑を今以上に良くするためにどうすれば良いのか、何をすれば良いのか」を第一に考え、これまで様々な企画案を考案してきました。また、年に一度ある創立記念祭も総合企画部が中心となり企画、運営をおこなっております。ききょう苑が20周年を迎えた際に制作、発行いたしました「ききょう苑20周年記念誌」(現在ききょう苑ホームページでもご覧いただけます)を手がけさせていただきました。

総合企画部では、年度の最初に総合企画委員のききょう苑に対する思いや、目指している方向を明確にして、全員で共有することが大事だと考えております。そうすることにより職員一人一人が、ききょう苑のことを考えるきっかけになり、職員同士の考えがわかり、信頼関係が構築でき、組織での方向性が統一され、事業計画や新規提案に活かせると考えております。

これからの総合企画部は、ききょう苑がご利用者、ご家族、職員にとってより良くなるよう、多方面から考案し、企画・運営していけたらと考えております。

(総合企画部 主任 田島 拓也)

総合企画部提案一例
アニマルセラピー
太田小学校の生徒社会科見学
The Bell Flowers Band 2018 コンサート
沖縄いろは芸能団
夕涼み花火の会(喫食委員居酒屋と合同企画)
老健の在り方意識調査
ききょう苑開設20周年記念誌発行
ききょう苑開設20周年記念行事式典開催
日本財団PCR検査
来苑者セキュリティー対策
理想のききょう苑を考えるブレインストーミング
節電対策案
アフターフォローシステムの構築
光熱費削減案
省エネ診断について

外出リハビリ

総合企画部で提案し実現した企画の一つとして、「外出リハビリ企画」というものがあります。私たちは日ごろのケアの中でご利用者から「ここに行きたい」「あれを食べたい」「これが見たい」など希望をお聞きすることがあります。

また、ご利用者をこんなところに連れて行ったら喜んでくれるのでは？と想像を膨らませることもあります。これら希望をまとめて具体化できそうな外出先を選択し、希望が似ている人がいれば利用者同士引き合わせ、希望を実現していきたいと考えています。また、ききょう苑はリハビリ施設ですので、このような外出を目標設定とすることができればご利用者のモチベーション向上につながると考え企画しました。

企画が実現した今年11月の外出では入所以前にご家族と出かけ、たくさんのお出でのある花菜ガーデンへお連れすることが出来ました。

外出先での表情は苑に居る時とは比べ物にならないくらい素敵な表情を見せていただき、帰ってきたからも写真を見ながら思い出を語っていただきました。

外出という身体活動に加え、認知機能や心のリハビリになった場面でした。

(総合企画部 和泉屋 圭紀)





ききょう苑 創立25周年記念祭



2024年10月27日(日)、ききょう苑、創立記念のお祝いを通し、当苑を地域の方々を知っていただき、ご利用者の皆様、ご家族の皆様にお祭りの雰囲気味わい楽しんでいただくことを目的とし「ききょう苑創立25周年記念祭」を開催しました。

今年度は感染症対策実施のもと、3年ぶりに入所ご利用者の皆様だけではなく、当苑をご利用していただいている通所ご利用者の皆様はもちろんのこと、ご家族の皆様や近隣の皆様もお招きして、開催させていただきました。

ご利用者の皆様、お越しいただいた皆様には、昔懐かしのヨーヨー釣り、スーパーボールすくい、千本引き、アイロンビーズなど、昔ながらの模擬店の体験や飲食店では、あんみつを食べ、懐かしの思い出を感じながら楽しんでいただきました。

また介護老人保健施設ならではの体験として、看護師による手洗いチェッカー

や介護士による車椅子の体験も準備させていただきました。普段行えない色々な体験を通し楽しんでご利用者の姿や、ご家族と一緒に過ごしている姿を拝見し職員一同、改めて皆様と一緒に創立記念をお祝い出来、心より感謝申し上げます。入所ご利用者の皆様限定になりますが、創立記念祭の特別な昼食として、バイキング形式で提供させていただきました。麻婆豆腐やエビかつ、ポテトサラダなど、好きなものをその場で選べ、普段とは違う雰囲気のある食事を楽しんでいただきました。

また、職員からの出し物として、「プロジェクト」を使用したクイズ大会を開催しました。日本の都道府県の観光名所や名産品を写し、昔に旅行や仕事、里帰りなどで訪れた場所を思い出しながら参加していただきました。観光名所や名産品を知ったり話しをしたりすることで、昔の思い出や旅行気分を味わいながら、皆様、楽しまれていました。

来年度も今年度同様に職員一同、多くの方々をお招きできるよう開催に向けて準備を進めてまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。



(創立記念祭実行委員長 和田 智一)

通所リハビリクリスマス

介護部通所リハビリでは、12月16日から23日までの午後の時間を利用してクレープ作りのレクリエーションを開催しました。職員は不安と緊張を抱えていましたが、ご利用者の笑顔や「美味しい」という声に支えられ、大成功となりました。



今回の経験を通じて、今後のレクリエーションの取り組み方や提供方法を見直し、さらにご利用者に喜ばれる企画を考えていきたいと思っております。

(介護部門 主任 壬生 利浩)

入所焼き芋イベント

秋の深まりとともに「何か季節を感じられるもの」と考え、ききょう苑では、11月26日(水)おやつの際に焼き芋を提供しました。

「い〜しや〜きいも〜」のどこか懐かしいメロディとともに、段ボールで手作りした焼き芋マシーンで各テーブルを回り、中の鉄鍋から温かいホクホクの焼き芋を取り出し、ご利用者に直接手渡し食べていただきました。味や雰囲気を楽しんでいたことが出来たようで、とても好評でした。いつもの時間が少しだけ特別な時間になるような取り組みを、これからも行っていききたいと思っております。



(介護部門 主任 山口 匠史)

クリスマスの特別メニュー

12月24日の昼食時にクリスマス特別メニューを提供しました。メニュー内容は、ロールパン、チキンステーキリソット、トマトソース、クリスマスマカロニのサラダ、パンプキンスープ、苺みるくプリン。

おやつにはケーキが提供され、食事からクリスマスが感じられる時間となりました。今後も食事を通して、ご利用者に喜んでいただけるようにしていきたいです。

(栄養部門長 木我 みな美)



編集後記

今年で当施設は25周年を迎えます。4半世紀を迎えられたのは、日々ききょう苑をご利用していただいている皆様のおかげです。利用してよかったと言っていただけの施設を、職員一同目指してまいります。

今年のききょう苑通信では巳年だけに、皆さまの巳(身)になる情報を発信していきますので、今年もよろしくお願いたします。

(事務部門 小林 桂斗)

